

## 週間展望(2/21～2/27)

～ WEEKLY FORECAST ～

調査課

菊川 弘之



PHOTO by KIKUKAWA

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

# 週間展望(2/21～2/27)

## ～ドル円～

**調査課**
**菊川 弘之**


### 【前週レビュー】

### 米金融引き締め加速と ウクライナ情勢が綱引

- 先週レポートで「サリバン報道官が、プーチン大統領がすでにウクライナ侵攻を決定し、ロシア軍にその旨指示した可能性がある」との見方を示したことにより、一気に状況が緊迫。当時国通貨のドル売り・リスク回避の円買いが出た」としたが、先週は、米金融引き締め加速とウクライナ情勢への警戒感が綱引きする中、ダウが今年最大の下げとなる一方、相対的に安全資産とされる米国債に買いが集まり、米長期金利が低下。円高ドル安の流れが継続した。
- 1月のFOMC議事要旨は、FOMC後のパウエル議長の記者会見に沿った内容で新味はなく、金融引き締め加速を示唆する新たな情報がなく、金融引き締めへの過度な警戒感が後退する場面もあったが、米株もドル円も戻りは限定的だった。
- 米国・NATOとロシア間の溝は埋まらず平行線に。ロシアが一部地域での演習を終えて撤退する動きが報じられたが、ウクライナ東部の親ロシア地域での砲撃報道で株安が加速。ドル円も円高方向に振れた。
- 米金融引き締め観測よりも、ウクライナ関連の報道に左右されやすい地合い。
- 先週末のドル円は、ウクライナ情勢が緊迫化すると警戒感から流動性の高いドルが対ユーロで買われ、円売り・ドル買いがやや優勢。ただ、リスク回避の円買いもあり、ドル円の上値は限定的。
- CFTC建玉明細(2/15現在)によると大口投機玉は、66,162枚の売り越し。前週(59,148枚の売り越し)から拡大。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

# 週間展望(2/21～2/27)

～ ドル円～

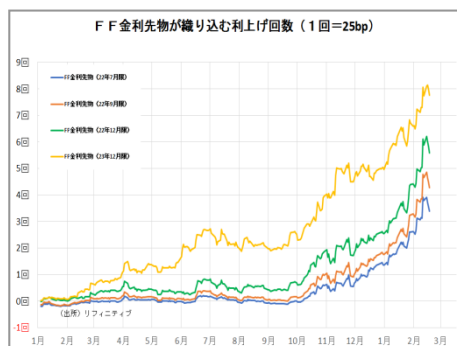
調査課

菊川 弘之



## 【今週見通し・戦略】

■ FOMC副議長のニューヨーク連銀のウィリアムズ総裁が、18日の講演で、インフレ圧力の高まりなどを踏まえ、3月の利上げが適切との考えを表明したが、「大きな一歩を踏み出す説得力のある議論はない」と指摘し、大幅利上げには否定的な考えを示した。



## 3月大幅利上げ 観測後退

■ 3月の連邦公開市場委員会(FOMC)で0.50%の大幅利上げに踏み切るとの見方が後退中。

■ 欧州諸国ではロシア産天然ガスへの依存度が高く、ロシアから天然ガスを運ぶパイプラインは一部がウクライナやベラルーシを経由している。ウクライナ情勢の緊迫化は欧州のエネルギーの安全保障にかかわる問題であり、緊張が高まるとユーロは売られやすい。

■ ウクライナ情勢について外交的解決の模索が続いているが、欧州安保協力機構(OSCE)のウクライナ特別監視団(SMM)は19日、声明を出し「ウクライナ東部で停戦違反が急増している」と警告した。ドネツク人民共和国(DNR)とルガンスク人民共和国(LNR)は存在して既に8年。ロシアの社会保障システムと教育システムが実施され、ロシアから財政支援を受け、圧倒的多数がロシア語を話し、ウクライナに戻るつもりはない。DNRとLNRにいるロシアパスポートを所有する市民の数は、652,000人(人口の3分の1)。いかなる制裁があろうともプーチン大統領に、ここを見捨てる選択肢はない。

■ 2月23日の祝日(赤軍の日・祖国防衛軍の日)～24日の米ロ外相会談までに解決策が見つからなければ、ウクライナ侵攻の可能性は増大する。

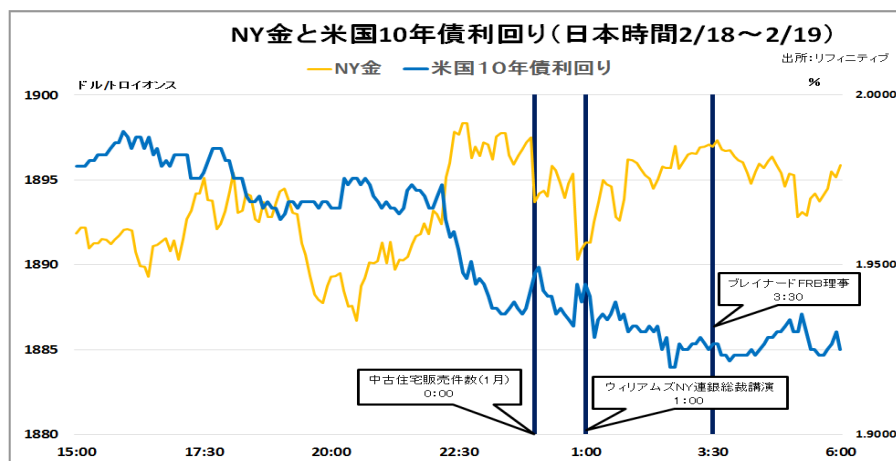
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

# 週間展望(2/21～2/27)

## ～ 貴金属市場 (金：GOLD) ～

調査課

菊川 弘之



### 【前週レビュー】

1900ドル台  
7000円台まで続伸

- 先週レポートで「通貨の顔」からは金利上昇・ドル高に上値を抑えられ易い地合いだが、「安全資産」としては、株安・インフレヘッジに加えてウクライナ情勢次第では、上値余地は大きくなる」としたが、先週のNY金(4月限)は、ロシアが軍事演習を終えた一部部隊の撤収を発表した事を受けて、調整に入る場面もあったが、押し目はすかさず買い直された。
- ウクライナで政府軍が東部の親ロシア派勢力を砲撃。バイデン米大統領は、ロシアによる侵攻の脅威は「非常に高い」と述べ、北大西洋条約機構(NATO)のストルテンベルグ事務総長は、ウクライナで停戦合意違反の動きが強まっていることに懸念を表明。地政学リスクの高まりを背景に「安全資産」としての買いが集まり、一時、心理的節目1900ドル台を突破。JPX金先限は2020年8月以来の高値7020円を付けた。
- 先週末のNY金(4月限)は、3日ぶりに反落した。ウクライナ情勢の緊迫化を受けて昨年6月以来の高値を付けた。ウクライナ東部での砲撃を受けて押し目を買われ、1902.5ドルまで上昇。
- その後は、足元で相場が大きく上げた後とあって、3連休前の利益確定売りも出やすい中、米口外相会談が来週に予定された事や、米中古住宅販売戸数が予想外に増加し、米連邦準備理事会(FRB)の利上げ見通しなどを背景としたドル高を受けて上げ一服となった。
- CFTC建玉明細(2/15現在)によると大口投機玉は、213,613枚の買い越し。前週(186,706枚の買い越し)から拡大。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

## 週間展望(2/21～2/27)

### ～ 貴金属市場(金: GOLD) ～

調査課

菊川 弘之



#### 【今週見通し・戦略】

#### 三角もち合い上放れ

- 外交的解決の模索が続いているが、話し合いがモノ分れとなった場合は、米国から新しい制裁が宣言される可能性。この「予防的制裁」が採用されれば、外交的解決の可能性は大幅に後退する。
- 2月23日は、ロシアの祝日(赤軍の日)。24日には米ロ外相会談。この日までに解決策が見つからなければ、ウクライナ侵攻の可能性は増大する。休戦協定が結ばれていた北京オリンピックは2月20日に閉幕した。
- 過去の地政学リスク発生時の金価格を振り返ってみると、ソチ冬季オリンピック中にウクライナ騒乱が起きた時は、金価格は上昇したものの、クリミア独立承認で頭打ち。調整安になった。
- 湾岸戦争時には、イラクのクェート侵攻で上昇、開戦に向けて緊張が高まる中、堅調推移を続け、多国籍軍のイラク攻撃で急騰したものの、その日のうちに急反落となった。
- 今回も緊張を受けて買い進まれており、実際の侵攻開始となっても、短期間で戦闘が終了・休戦協定が結ばれるなら、「噂で買われて事実で売る」パターンになるかもしれない。イランとの核合意復帰協議が合意を見せると、金も原油下落に追従する可能性もある。
- ただし、過去の紛争時と異なり、今回は地政学リスク要因だけで上昇しているのではなく、「インフレ」という大きな要因が背後に控えている。FRBの政策舵取りは、非常に困難であり、インフレリスクとFRBの政策ミスリスクの両方に対するヘッジとして金への資金流入は続き、金は利食いが入っても、「悪い金利上昇」懸念を背景に、戦闘後の押し目は買い拾われるだろう。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

# 週間展望(2/21～2/27)

## ～ 貴金属市場(白金: Platinum) ～

調査課

菊川 弘之



### 【前週レビュー】

- 先週レポートで「強気の雇用統計に続き、1月の米消費者物価指数(CPI)が前年同月比7.5%上昇し、伸び率は1982年2月以来、約40年ぶりの大きさとなった事で、米金利高・ドル高・株安に振れている。更に、ウクライナ情勢の緊迫化で、金が「安全資産」としての買いを集めているのに対して、白金は工業用需要の低下懸念に上値が抑えられている。パラジウムはロシア供給シェアが約40%なのに対して、白金は10%程度と、ロシア制裁思惑に関しても、反応に温度差が出ている」としたが、NY白金(4月限)は、ウクライナ情勢の緊迫化や金急伸を受けて堅調となり、1月下旬からのレンジを上放れた。

### レンジ上放れ

- インフレ懸念の高まりで米連邦準備理事会(FRB)の大幅利上げ観測が高まったことが上値を抑える要因になったが、ウクライナ情勢の緊迫化でパラジウム上昇が警戒される中、NY指定倉庫在庫が減少し、レンジ上放れで売り方の買い戻しも入った。ロシアがウクライナに侵攻すると、欧米の制裁が見込まれており、ロシアも報復措置としてパラジウムの輸出を制限する可能性がある。
- 先週のNY白金(4月限)は、ウクライナ情勢に対する懸念が残り、株安に振れたことを受けて売り優勢となった。米連邦準備理事会(FRB)の利上げ見通しなどを背景としたドル高も圧迫要因となり、1066.5ドルまで下落した。
- 米中古住宅販売戸数が予想外に増加したことや米連邦準備理事会(FRB)の利上げ見通しを受けてドル高に振れた。
- CFTC建玉明細(2/15現在)によると大口投機玉は、10,132枚の買い越し。前週(11,759枚の買い越し)から縮小。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

## 週間展望(2/21～2/27)

### ～ 貴金属市場(白金: Platinum) ～

調査課

菊川 弘之

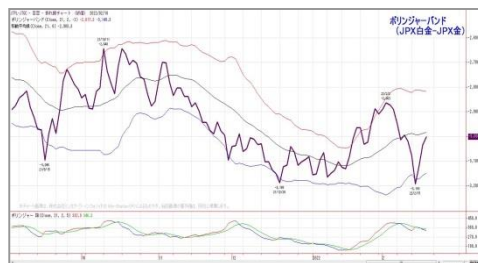


#### 【EU新車販売】

- 欧州自動車工業協会(ACEA)によると、1月の欧州連合(EU26)の新車(乗用車)登録台数は前年同月比6.0%減の68万2596台となった。半導体不足が自動車販売に影響するなか、1月として過去最低を更新した。

#### 【今週見通し・戦略】

- ボリンジャーバンドでは、「白金-金」の鞘は、「金買い・白金売り」。 $-2\sigma$ 突破後、短期的な売られ過ぎ感(金買い・白金売り)に対する調整が入っているが、中心線(21MA)を上抜かない限り、「金買い・白金売り」が継続。



- ウクライナ情勢の緊迫化で、金が「安全資産」としての買いを集めているのに対して、白金は工業用需要の低下懸念に上値が抑えられている。
- パラジウムはロシア供給シェアが約40%なのに対して、白金は10%程度と、ロシア制裁思惑(報復制裁による供給障害懸念)に関しても、反応に温度差がある。
- 2月23日は、ロシアの祝日(赤軍の日)。24日には米ロ外相会談。この日までに解決策が見つからなければ、直接衝突の可能性は増大する。休戦協定が結ばれていた北京オリンピックは2月20日に閉幕した。短期的には、ウクライナ情勢の行方や、米利上げ観測に伴う米株動向に左右されそう。
- JPX白金は、52週移動平均線に続き、2021年11月高値を上抜くと、ダブルボトム完成となり、テクニカル的な強気感が増す。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

# 週間展望(2/21～2/27)

## ～ ゴムRSS3号先物～

調査課

菊川 弘之



### 【前週レビュー】

- 先週レポートで「相関の高い原油相場が、イランの核合意復帰協議の行方と、ウクライナ情勢を受けて、上下どちらに動意付くかに注目。まずは、米ロ首脳会談で外交的解決の道が築かれるか否かが焦点」としたが、先週のRSS3号は、ウィンタリング(落葉期＝減産期)に入っている産地価格の上昇傾向に対して、鉄鉱石市場で中国当局が投機的な動きを許容しない姿勢を示すと共に価格抑制に動いていることで上海ゴムの上値が抑えられており、東京市場はレンジ相場が続いている。

- 全国生ゴム営業倉庫在庫(1/31日現在)は、11,362トン(前旬比345トン減)。1月下旬の入出庫は入庫534トン、出庫879トン。

### 【今週見通し・戦略】

- 今週は週央に休場を挟み、積極的にポジションを取り難い地合いの中、ウクライナ情勢やイラン核合意協議を受けた原油市場や、株式市場の動向に左右され、状況次第では、変動が高くなる可能性も。
- 薄商いの中、値が飛びリスクには注意を払いたい。
- ウクライナ情勢に関しては、「数日のうちにロシアが侵攻する可能性がある」と米国が囁く一方、演習していたロシア軍の一部が撤収していることが報じられるなど、プロパガンダ合戦の様相となっており、フェイクニュースであっても、マーケットが短期的に過度な反応をするリスクにも注意。
- 2月23日は、ロシアの祝日(赤軍の日)。24日には米ロ外相会談。この日までに解決策が見つからなければ、直接衝突の可能性は増大する。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

# 週間展望(2/21～2/27)

## ～ 穀物市場（大豆・コーン）～

### 調査課

菊川 弘之



### 【前週レビュー】

- 先週レポートで「ウクライナ情勢を受けた小麦相場が、現在の穀物市場のリード役となっており、小麦動向次第の展開が続く」としたが、先週のシカゴ穀物は、強気の需給報告を受けた堅調推移が継続。
- 先週末のシカゴ穀物は、好調な輸出と今後の輸出増期待から総じて続伸。ウクライナ情勢が混沌とするなか、ロシア、ウクライナという主要生産国からの供給引き締め懸念が手掛かりとなり買い優勢となった。また、ブラジル、アルゼンチンの両国からの供給不安と、これを受けた米国の輸出増期待も一因。
- CFTC建玉明細(2/15現在)によると大豆の大口投機玉は、216,732枚の買い越し。前週(209,730枚の買い越し)から拡大。コーンが414,492枚の買い越し。前週(419,602枚の買い越し)から縮小。
- 週間純輸出成約高(2月10日までの週)

### 【今週見通し・戦略】

- 大豆: 288万7800トン(事前予想レンジ: 70万～150万トン)
- コーン: 93万3500トン(事前予想レンジ: 50万～120万トン)
- ブラジル、アルゼンチン産コーンは年明けからの高温乾燥で新穀21/22年度の生産量は2月の米農務省(USDA)が出したブラジル産1億1400万トン、アルゼンチン産5400万トンを下回る可能性。「2月安」の時期であるものの下値は限定的のまま、春からの米国天候相場を迎えることとなりそう。
- 24、25日にUSDA主催の農業アウトLOOKフォーラムが開催される。今年の米国産コーン、大豆などの作付け面積、生産予想が示される。低在庫水準での天候相場は上値波乱となりやすい。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

# 週間展望(2/21～2/27)

## ～ 原油市場 (ドバイ原油・CME原油指数) ～

調査課

菊川 弘之



### 【前週レビュー】

- 先週レポートで「約7年4か月ぶりの高値水準となった原油市場だが、2011年～2014年は、100ドル±10ドル程度のレンジが長く続いていた。米シェール革命に歯止めをかけるには、低価格に甘んじることがOPECの利益になる」というような2014年当時とは環境が異なり、脱炭素の流れに伴い、米シェール企業への投資は大幅減少しており、価格上昇に関わらず、シェールの増産ペースは鈍く、OPECの需要シェアは拡大見通しだ。オミクロン株の感染拡大が一巡してくると、2022年はジェット燃料(航空機)需要も大きく伸びそうだ。今年、100ドル台が地相場になる可能性は十分にある。」としたが、先週のNY原油(3月限)は、ウクライナ情勢の緊迫化と、株安・再開されたイラン核合意の再協議との綱引き相場となりながら、調整含みの展開。

イラン核合意復帰協議  
大詰め

- 週末のNY原油(3月限)は、続落した。ロイター通信は17日、段階的にイランが義務履行に復帰した後、米国が制裁を解除する段取りだと報じた。イラン産原油の禁輸措置が解除されれば、世界の原油供給が大きく増えるとの見方から売りが優勢となった。
- ただし、米ロ外相会談が来週に予定されているものの、ドネツク市中心部で自動車爆発。ウクライナ東部ドネツク州の親ロシア派指導者は、砲撃が激化しているとして、住民のロシアへの「大規模で集中的」な避難計画を表明。
- ロシア国防省は18日、プーチン大統領が指揮する軍事演習を19日に実施すると発表。ロシアがウクライナに侵攻すれば世界的なエネルギー需給の逼迫を招くとの見方が改めて強まり、下値は限定的となった。
- CFTC建玉明細(2/15現在)によると大口投機玉は、348,093枚の買い越し。前週(363,383枚の買い越し)から縮小。

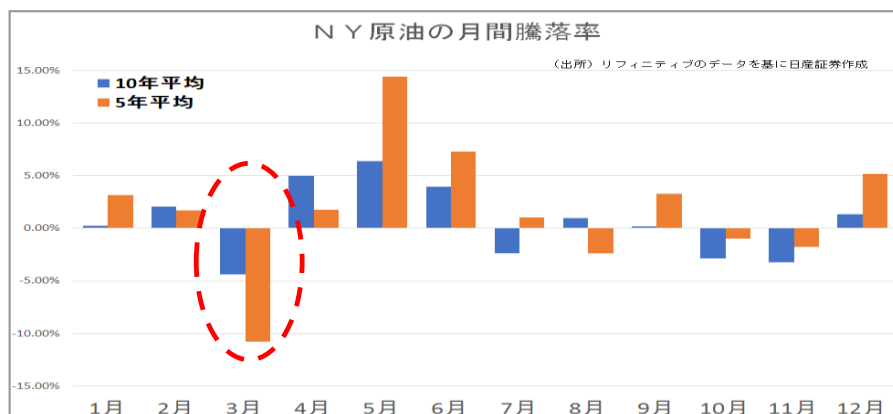
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりませんが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

## 週間展望(2/21～2/27)

### ～ 原油市場（ドバイ原油・CME原油指数）～

調査課

菊川 弘之



#### 【今週見通し・戦略】

- イラン核合意再建に向けた交渉で、イランが義務履行に戻り、米国が復帰を果たす段階的な手続きを定めた草案が大筋でまとまり、詰めの協議が行われている模様。
- 第一段階にはイランによるウラン濃縮度引き下げなどが盛り込まれ、その後、米国が対イラン制裁の解除に着手する。
- トランプ前米政権が18年に核合意を離脱し、対イラン制裁を再開したのをきっかけに、イランはウラン濃縮度を核兵器級に近い60%まで引き上げ、核合意が上限と規定する3.67%を大幅に上回っている。草案は第一段階として、イランが5%を超えるウラン濃縮活動を停止すると規定。韓国の銀行にある約70億ドルのイラン資金の凍結解除やイランが拘束している欧米人の解放も盛り込まれるとみられる。
- 合意がまとまってから「再履行の日」までの期間は1—3カ月と見られるが、マーケットは先んじて、イラン産原油供給再開を織り込みに行くかもしれない。
- 季節的にも3月は暖房油の需要がピークアウトしていく時期で、原油相場には調整が入りやすい時間帯だ。ただし、例年、原油相場は春先に調整が入るものの、夏高に向けた買い場となるケースが多く、アフターコロナ需要増加期待も強い。IEA見通しでも今年の需要は、コロナ以前の水準を上回る予想。
- 原油下落で春先にインフレは収まったとの思惑が一時的に強まるかもしれないが、南米産の不作で、例年「2月安(南米産の収穫)」で下げる時期に下げていない穀物の在庫水準は低いままで、地政学リスクにかかわらず、商品市場の需給タイトな地合いは全般に続くと思われ、インフレ懸念は夏場に再度高まる可能性。
- また、ウクライナ侵攻が起きた場合、短期的に100ドル超への噴き上げリスクも残ったままだ。「OPECプラス」は、イランが核合意再建で合意に達した場合、米国による制裁措置の影響で、現行のOPECプラスの協調減産の義務を免除されているイランを協調減産に参加させる方向。

#### ウクライナ情勢と イラン核合意協議の 綱引き

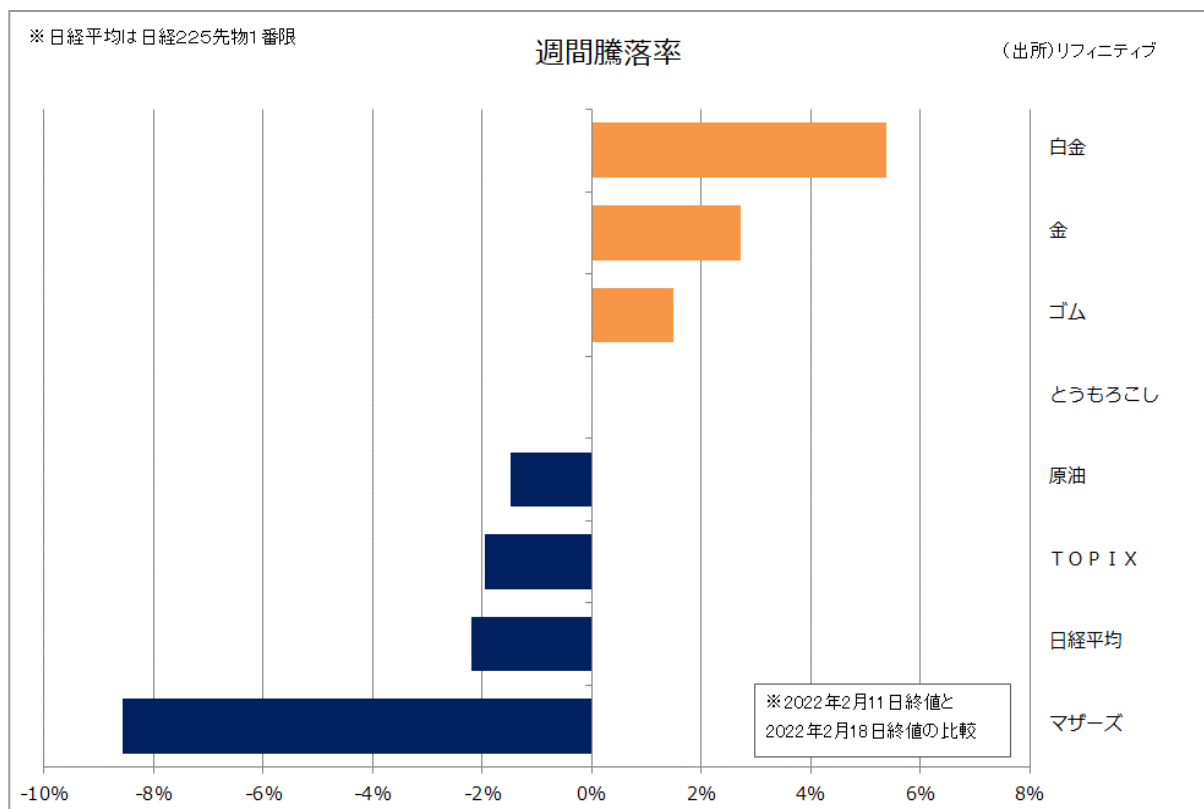
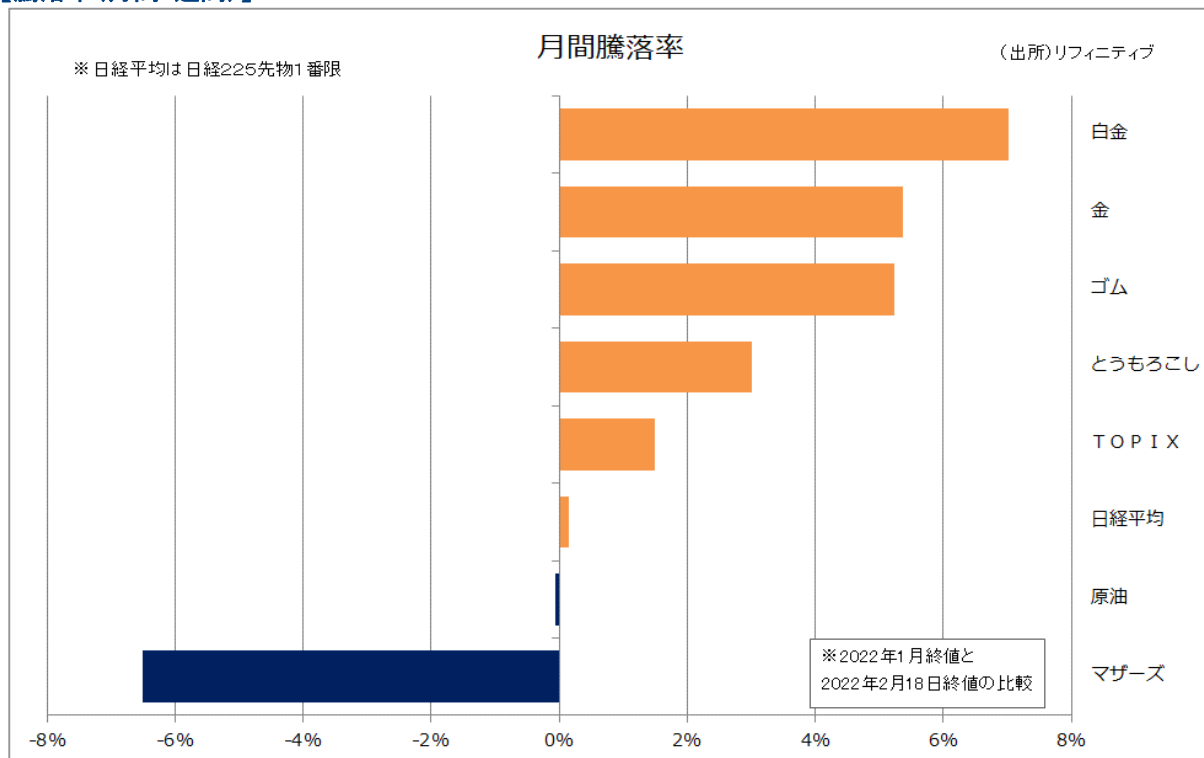
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

## 【週間行事予定(2/21~2/27)】

| 日付       | 時刻    | 国名   | 対象        | 経済指標・行事予定                                       | 前回         |
|----------|-------|------|-----------|-------------------------------------------------|------------|
| 2月21日(月) | 16:00 | ドイツ  | 1月        | 生産者物価指数 (PPI) (前月比)                             | 5          |
|          | 16:00 | ドイツ  | 1月        | 生産者物価指数 (PPI) (前年比)                             | 24.2%      |
|          | 17:30 | ドイツ  | 2月        | マークイット 製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                   | 59.8       |
|          | 17:30 | ドイツ  | 2月        | マークイット サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                | 52.2       |
|          | 17:30 | ドイツ  | 2月        | マークイット 総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                    | 53.8       |
|          | 18:00 | ユーロ圏 | 2月        | マークイット 製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                   | 58.7       |
|          | 18:00 | ユーロ圏 | 2月        | マークイット サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                | 51.1       |
|          | 18:00 | ユーロ圏 | 2月        | マークイット 総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                    | 52.3       |
|          | 18:30 | 英国   | 2月        | 総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                           | 54.2       |
|          | 18:30 | 英国   | 2月        | 製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                          | 57.3       |
|          | 18:30 | 英国   | 2月        | サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                       | 54.1       |
|          | 20:00 | 英国   | 2月        | CBI 小売売上高                                       | 28         |
|          | 20:00 | 英国   | 2月        | CBI 動向 - 受注                                     | 24         |
|          | 休場    | 米国   | ---       | 大統領の日 (ワシントン誕生日)                                |            |
|          | 納会    | 日本   | ---       | ゴム(RSS3)先物2022年2月限納会日                           |            |
|          | 納会    | 日本   | ---       | 金ミニ・白金ミニ2022年2月限取引最終日                           |            |
| 2月22日(火) | 18:00 | ドイツ  | 2月        | IFO 業況指数 (新)                                    | 95.7       |
|          | 18:00 | ドイツ  | 2月        | IFO 現況指数 (新)                                    | 96.1       |
|          | 18:00 | ドイツ  | 2月        | IFO 期待指数 (新)                                    | 95.2       |
|          | 23:00 | 米国   | 12月       | ケース・シラー20 (前月比) 季調値                             | 1.2%       |
|          | 23:00 | 米国   | 12月       | ケース・シラー20 (前年比)                                 | 18.3%      |
|          | 23:45 | 米国   | 2月        | マークイット 総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                    | 51.1       |
|          | 23:45 | 米国   | 2月        | マークイット 製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                   | 55.5       |
|          | 23:45 | 米国   | 2月        | マークイット サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値                | 51.2       |
|          | 納会    | 日本   | ---       | 貴金屬2022年2月限納会日                                  |            |
|          | 納会    | 日本   | ---       | 小豆2022年2月限納会日                                   |            |
| 2月23日(水) | 納会    | 米国   | ---       | NY原油2022年3月限納会                                  |            |
|          | 0:00  | 米国   | 2月        | 消費者信頼感指数                                        | 113.8      |
|          | 16:00 | ドイツ  | 3月        | Gfk 消費者信頼感指数                                    | -6.7       |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 1月        | EU 基準消費者物価指数 (HICP) 改定値 (前年比)                   | 5.1%       |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 1月        | EU 基準消費者物価指数 (HICP) (食品・エネルギー・酒・タバコ除) 改定値 (前月比) | -0.8%      |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 1月        | EU 基準消費者物価指数 (HICP) (食品・エネルギー・酒・タバコ除) 改定値 (前年比) | 2.3%       |
| 2月24日(木) | 休場    | 日本   | ---       | 天皇誕生日                                           |            |
|          | 22:30 | 米国   | Q4        | 国内総生産 (GDP) 改定値                                 | 6.9%       |
|          | 22:30 | 米国   | Q4        | 国内総生産 (GDP) デフレーター 改定値                          | 7.0%       |
|          | 22:30 | 米国   | Q4        | コア 個人消費支出 (PCE) 価格 改定値                          | 4.9%       |
|          | 22:30 | 米国   | 2月14日, 週次 | 新規失業保険申請件数                                      | 248 (千)    |
| 2月25日(金) | 22:30 | 米国   | 2月7日, 週次  | 継続失業保険受給総数                                      | 1,593 (百万) |
|          | 0:00  | 米国   | 1月        | 新築住宅販売戸数                                        | 0.811 (百万) |
|          | 8:30  | 日本   | 2月        | 東京都都区部消費者物価指数 (CPI) (前年比)                       | 0.2%       |
|          | 8:30  | 日本   | 2月        | 東京都都区部消費者物価指数 (CPI) 総合 (前年比)                    | 0.5%       |
|          | 9:01  | 英国   | 2月        | Gfk 消費者信頼感指数                                    | -19        |
|          | 16:00 | ドイツ  | 1月        | 輸入物価 (前年比)                                      | 24.0%      |
|          | 18:00 | ユーロ圏 | 1月        | マネーサプライ M3 伸び率 (前年比)                            | 6.9%       |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 2月        | 業況指数                                            | 1.81       |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 2月        | 景況感指数                                           | 112.7      |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 2月        | 製造業景況感指数                                        | 13.9       |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 2月        | サービス部門景況感指数                                     | 9.1        |
|          | 19:00 | ユーロ圏 | 2月        | 消費者信頼感指数 確定値                                    |            |
|          | 22:30 | 米国   | 1月        | 個人所得 (前月比)                                      | 0.3%       |
|          | 22:30 | 米国   | 1月        | 実質消費支出 (前月比)                                    | -1.0%      |
|          | 22:30 | 米国   | 1月        | 消費支出 (前月比) 季調値                                  | -0.6%      |
|          | 22:30 | 米国   | 1月        | コア 個人消費支出 (PCE) 価格指数 (前月比)                      | 0.5%       |
|          | 22:30 | 米国   | 1月        | 耐久財受注                                           | -0.7%      |
|          | 22:30 | 米国   | 1月        | 耐久財受注 輸送機器除く                                    | 0.6%       |
|          | 納会    | 日本   | ---       | 東京石油製品2022年2月限納会日                               |            |
| 2月26日(土) | 0:00  | 米国   | 2月        | ミシガン大 消費者信頼感指数 確報値                              | 61.7       |
|          | 0:00  | 米国   | 1月        | 中古住宅販売契約指数 (前月比)                                | -3.8%      |
|          | 5:30  | 米国   | 前週分       | CFTC連玉明細                                        |            |
| 2月27日(日) |       |      |           |                                                 |            |

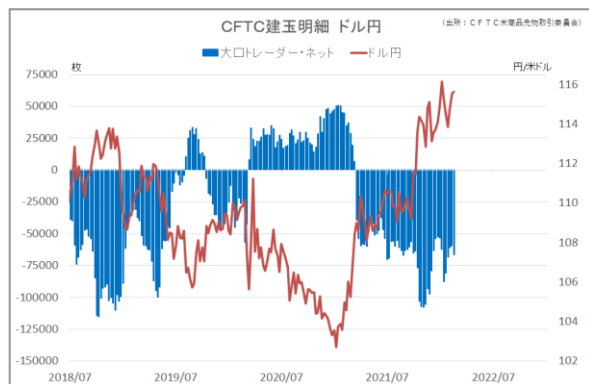
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社 に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

## 【騰落率(月間・週間)】

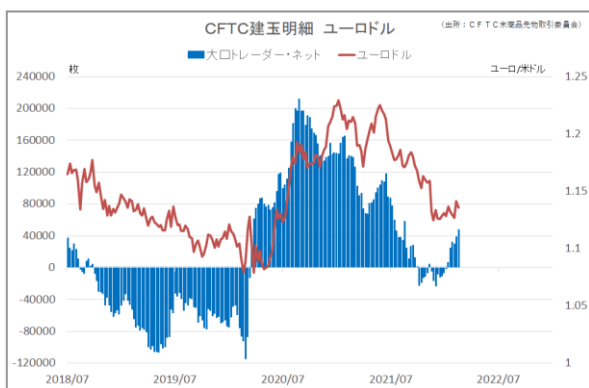


当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

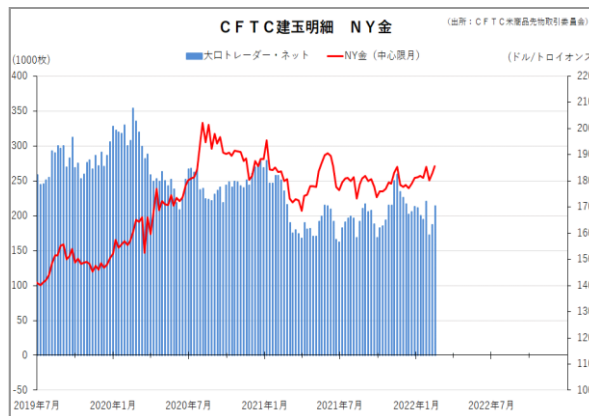
## 【CFTC建玉明細】



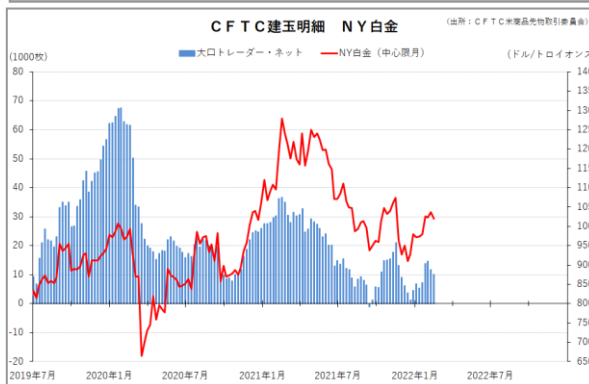
| 日付        | 大口投機玉  |        |                      | 終値     |
|-----------|--------|--------|----------------------|--------|
|           | ロング    | ショート   | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |        |
| 2022/1/18 | 8,002  | 88,881 | -80,879              | 114.61 |
| 2022/1/25 | 15,866 | 84,139 | -68,273              | 113.86 |
| 2022/2/1  | 14,510 | 75,150 | -60,640              | 114.71 |
| 2022/2/8  | 15,692 | 74,840 | -59,148              | 115.54 |
| 2022/2/15 | 10,425 | 76,587 | -66,162              | 115.62 |
| 前週比       | -5,267 | 1,747  | -7,014               | 0.08   |



| 日付        | 大口投機玉   |         |                      | 終値      |
|-----------|---------|---------|----------------------|---------|
|           | ロング     | ショート    | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |         |
| 2022/1/18 | 211,901 | 187,317 | 24,584               | 1.1325  |
| 2022/1/25 | 213,408 | 181,848 | 31,560               | 1.1299  |
| 2022/2/1  | 213,563 | 183,847 | 29,716               | 1.1269  |
| 2022/2/8  | 218,973 | 180,131 | 38,842               | 1.1414  |
| 2022/2/15 | 217,899 | 170,318 | 47,581               | 1.1356  |
| 前週比       | -1,074  | -9,813  | 8,739                | -0.0058 |



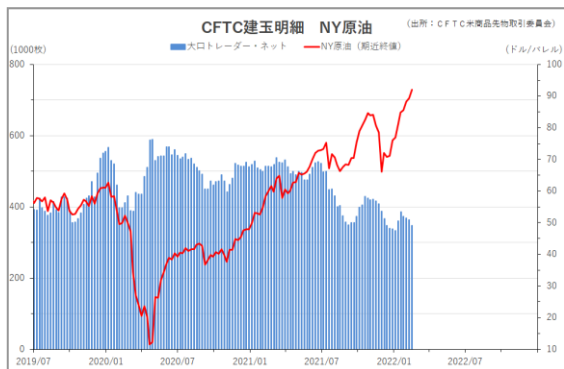
| 日付        | 大口投機玉   |         |                      | 中心限月<br>終値 |
|-----------|---------|---------|----------------------|------------|
|           | ロング     | ショート    | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |            |
| 2022/1/18 | 290,528 | 96,321  | 194,207              | 1812.4     |
| 2022/1/25 | 313,415 | 93,264  | 220,151              | 1852.5     |
| 2022/2/1  | 275,994 | 103,852 | 172,142              | 1801.5     |
| 2022/2/8  | 279,559 | 92,853  | 186,706              | 1827.9     |
| 2022/2/15 | 313,269 | 99,656  | 213,613              | 1856.2     |
| 前週比       | 33,710  | 6,803   | 26,907               | 28.3       |



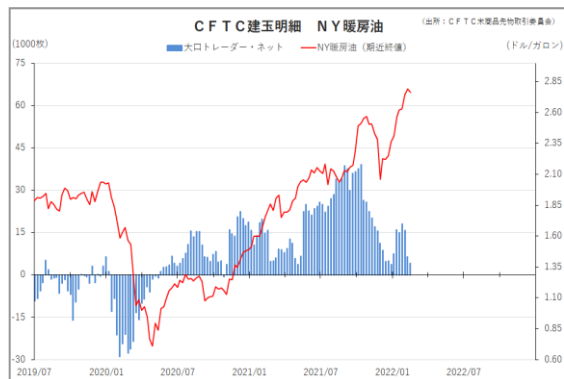
| 日付        | 大口投機玉  |        |                      | 中心限月<br>終値 |
|-----------|--------|--------|----------------------|------------|
|           | ロング    | ショート   | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |            |
| 2022/1/18 | 27,304 | 20,075 | 7,229                | 979.5      |
| 2022/1/25 | 27,429 | 13,637 | 13,792               | 1025.5     |
| 2022/2/1  | 28,171 | 13,590 | 14,581               | 1023.2     |
| 2022/2/8  | 28,134 | 16,375 | 11,759               | 1036.3     |
| 2022/2/15 | 28,217 | 18,085 | 10,132               | 1020.4     |
| 前週比       | 83     | 1,710  | -1,627               | -15.9      |

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

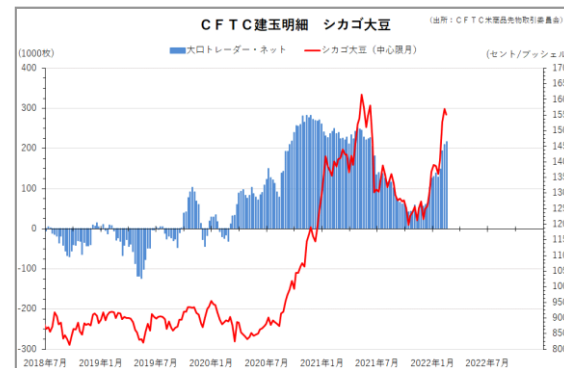
## 【CFTC建玉明細】



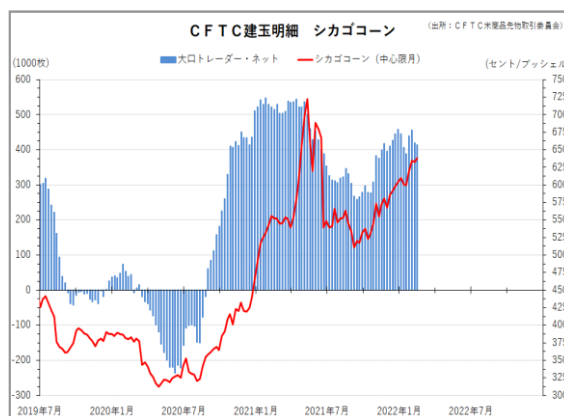
| NY原油      |         |         |                      |       |
|-----------|---------|---------|----------------------|-------|
| 日付        | 大口投機玉   |         |                      | 期近終値  |
|           | ロング     | ショート    | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |       |
| 2022/1/18 | 503,178 | 117,397 | 385,781              | 84.83 |
| 2022/1/25 | 492,310 | 118,895 | 373,415              | 85.60 |
| 2022/2/1  | 487,606 | 118,702 | 368,904              | 88.2  |
| 2022/2/8  | 480,560 | 117,177 | 363,383              | 89.36 |
| 2022/2/15 | 458,819 | 110,726 | 348,093              | 92.07 |
| 前週比       | -21,741 | -6,451  | -15,290              | 2.71  |



| NY暖房油     |        |        |                      |         |
|-----------|--------|--------|----------------------|---------|
| 日付        | 大口投機玉  |        |                      | 期近終値    |
|           | ロング    | ショート   | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |         |
| 2022/1/18 | 59,763 | 44,936 | 14,827               | 2.62    |
| 2022/1/25 | 60,678 | 42,678 | 18,000               | 2.6292  |
| 2022/2/1  | 64,794 | 49,111 | 15,683               | 2.7412  |
| 2022/2/8  | 59,340 | 52,885 | 6,455                | 2.7926  |
| 2022/2/15 | 58,952 | 54,791 | 4,161                | 2.7643  |
| 前週比       | -388   | 1,906  | -2,294               | -0.0283 |



| シカゴ大豆     |         |        |                      |            |
|-----------|---------|--------|----------------------|------------|
| 日付        | 大口投機玉   |        |                      | 中心限月<br>終値 |
|           | ロング     | ショート   | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |            |
| 2022/1/18 | 179,661 | 51,646 | 128,015              | 1361.25    |
| 2022/1/25 | 197,316 | 48,444 | 148,872              | 1407.25    |
| 2022/2/1  | 235,972 | 42,599 | 193,373              | 1528.50    |
| 2022/2/8  | 255,224 | 45,494 | 209,730              | 1569.00    |
| 2022/2/15 | 261,666 | 44,934 | 216,732              | 1551.25    |
| 前週比       | 6,442   | -560   | 7,002                | -17.75     |



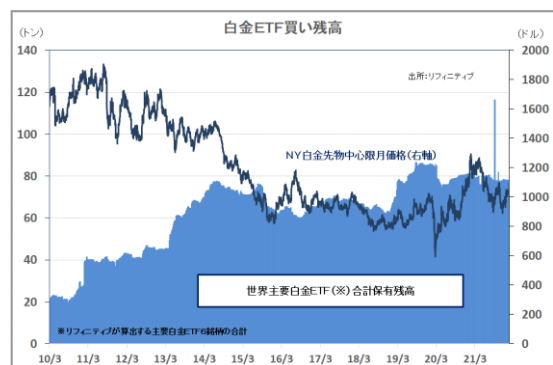
| シカゴコーン    |         |         |                      |            |
|-----------|---------|---------|----------------------|------------|
| 日付        | 大口投機玉   |         |                      | 中心限月<br>終値 |
|           | ロング     | ショート    | 差引枚数<br>(ロング - ショート) |            |
| 2022/1/18 | 476,449 | 88,311  | 388,138              | 599.50     |
| 2022/1/25 | 524,903 | 85,805  | 439,098              | 620.00     |
| 2022/2/1  | 547,596 | 92,376  | 455,220              | 634.75     |
| 2022/2/8  | 519,855 | 100,253 | 419,602              | 632.25     |
| 2022/2/15 | 510,734 | 96,242  | 414,492              | 638.00     |
| 前週比       | -9,121  | -4,011  | -5,110               | 5.75       |

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

## 【金・白金ETF】

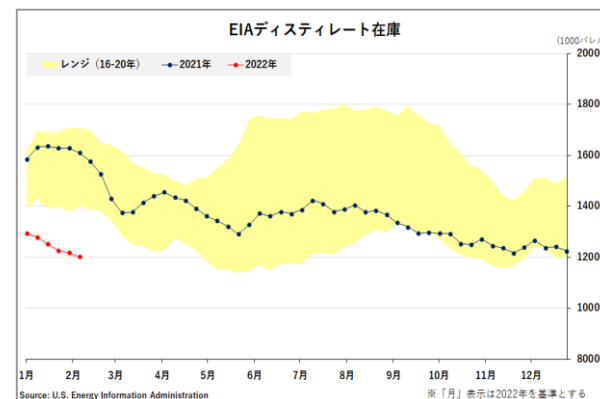
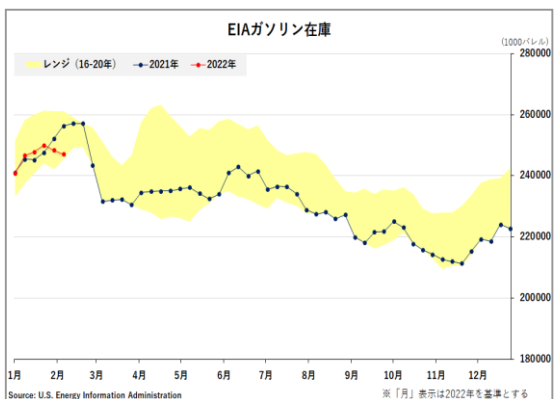
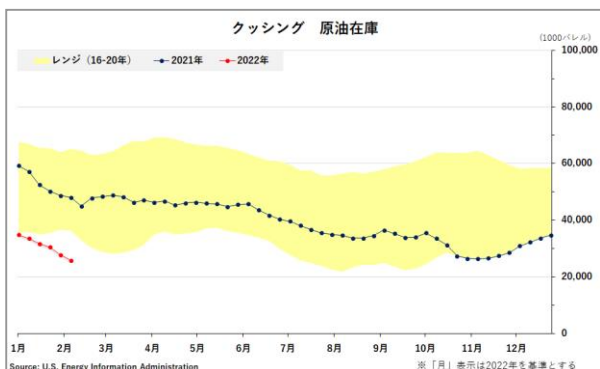
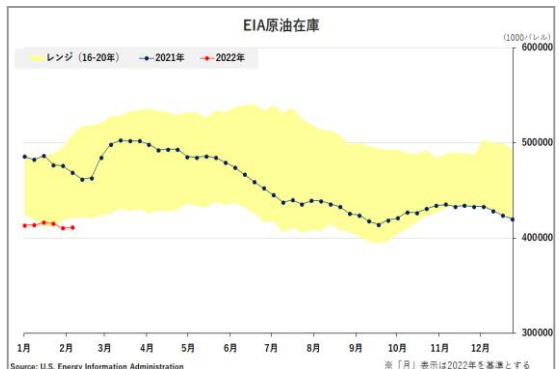


| 日付        | 金保有高(トン) | 前営業日比 |
|-----------|----------|-------|
| 2022/2/18 | 1024.09  | +4.65 |
| 2022/2/17 | 1019.44  | ±0    |
| 2022/2/16 | 1019.44  | ±0    |
| 2022/2/15 | 1019.44  | ±0    |
| 2022/2/14 | 1019.44  | ±0    |
| 2022/2/11 | 1019.44  | ±0    |
| 2022/2/10 | 1019.44  | +3.48 |



| 日付        | 白金保有高(キログラム) | 前営業日比   |
|-----------|--------------|---------|
| 2022/2/18 | 77,852.78    | -0.16   |
| 2022/2/17 | 77,852.93    | -0.16   |
| 2022/2/16 | 77,853.09    | -0.47   |
| 2022/2/15 | 77,853.55    | -67.43  |
| 2022/2/14 | 77,920.99    | -150.35 |
| 2022/2/11 | 78,071.34    | -0.19   |
| 2022/2/10 | 78,071.53    | -0.16   |

## 【EIA在庫】



当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

## 【留意事項】

弊社が取り扱っている金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等により損失を生じる恐れがあります。商品や取引によっては、投資元本を超える損失が発生することがあります。各商品等ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、各商品等へのご投資にかかる手数料等及びリスクについては、当該金融商品等の取引概要やリスク説明等、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等を十分にご確認ください。

<商号等>日産証券株式会社（〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-11）

関東財務局長（金商）第131号金融商品取引業者商品先物取引業者

<加入協会>日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会

---

当資料は情報提供を目的としており、弊社取扱商品に係る売買を勧誘するものではありません。内容は、正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。